

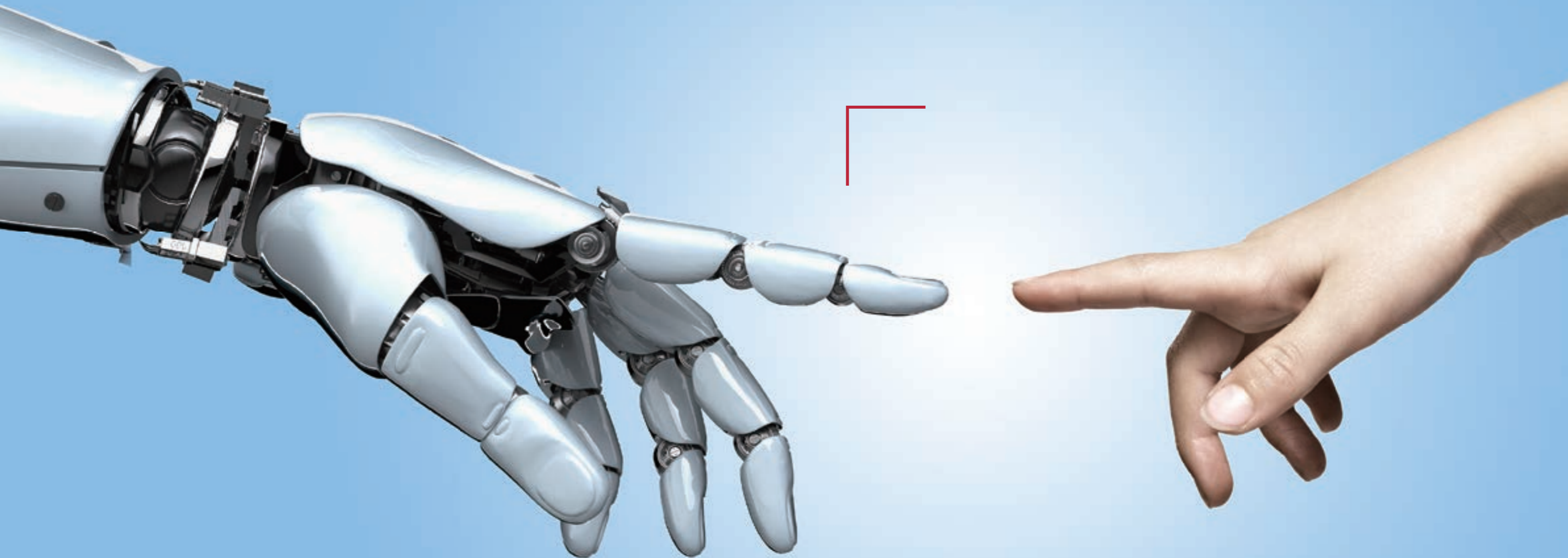
ファーウェイ・ジャパン

CORPORATE PROFILE 2019



すべてが繋がった インテリジェントな世界の実現へ。

BRING DIGITAL TO EVERY PERSON, HOME AND ORGANIZATION FOR A FULLY CONNECTED, INTELLIGENT WORLD



あらゆるモノがセンサーとなり、つながり、知能を持つ —

デジタル変革をもたらすインテリジェントな世界の実現には、

業界の枠や国境を超えた共存共栄のエコシステムを構築し、

ICT産業全体をともに発展させていくことが不可欠です。

ファーウェイはその一員として、人と人、モノとモノ、人とモノの関係性に

デジタル化の新たな価値をもたらす基盤を築き、

すべてが繋がったインテリジェントな世界の実現を目指していきます。

日本のみなさまとともに デジタル変革のさらなる進展を

5G時代の到来とともに、社会のデジタル化はますます加速の一途をたどっています。

同時に、セキュリティとプライバシー保護の重要性はいっそう高まっています。

14年にわたり日本で事業を展開してきたファーウェイ・ジャパンは、

これまでに信頼を築き上げてきた多くのお客様、

パートナー企業のみなさまと密接な協業を続け、

セキュリティとプライバシー保護を最優先事項とし、

デジタル変革のさらなる進展に向けて着実に歩みを進めています。

これからも、みなさまとともにイノベーションを推進し、

「すべてが繋がったインテリジェントな世界」の実現に邁進する所存です。

代表取締役社長

王 劍峰 (ジェフ・ワン)



世界でも、日本でも、 エンドツーエンドのソリューションでICTにさらなる可能性を。

「すべてがつながったインテリジェントな世界」の実現のために、ネットワークインフラ技術から、クラウドコンピューティングやIoT向けソリューション、
コンシューマー向け端末まで、ファーウェイは、エンドツーエンドのソリューションを提供できる強みを活かし、ICTイノベーションを生み出し続けています。

通信事業者向け ネットワーク事業

業界をリードする5Gソリューションにより
高性能で安全なネットワーク構築と
迅速な大規模商用展開を実現。
通信事業者のビジネス領域の拡大と
イノベーションを通じた新たな成長を支援します。

世界をつなぐ技術を、日本にも。

グローバル

- 世界で**182**社の通信事業者と**5G**試験を実施
- 30**を超える5G商用契約を締結
- 4万**局以上の5G基地局を出荷
- 53**の**NB-IoT**ネットワークを展開

※ 2018年末現在

ジャパン

- 2006年から分散型基地局装置を提供
- 世界初**のMassive MIMO商用ネットワークを実現
- 主要通信事業者と**5G**に向けた協業を推進



モバイルネットワークの展開を支援するほか、スマートパーキングなどのNB-IoTソリューションでも通信事業者と協業

コンシューマー向け 端末事業

グローバル市場での競争力を強みに
日本市場のニーズに寄り添い
優れたユーザー体験をもたらす製品を
幅広く展開しています。

世界に広がるユーザー体験を、日本にも。

グローバル

- 世界で**2億600万**台のスマートフォンを出荷、市場シェア第**3**位 (2018年度)
- 世界最速**の折りたたみ式5G対応スマートフォン『HUAWEI Mate X』を発表



ジャパン

- SIMフリースマートフォンメーカー別 販売数第**1**位 (2018年、BCN調べ)



HUAWEI Mate 20 Pro



HUAWEI MateBook X Pro



HUAWEI MediaPad M5 Pro



HUAWEI WATCH GT



Speed Wi-Fi NEXT W06

法人向けICT ソリューション事業

世界が認める製品・ソリューションを現地化し、
さまざまな企業のICT戦略をサポートして
デジタル変革の実現を支援します。

世界を支えるソリューションを、日本にも。

グローバル

- 業界最高性能を誇るARMベースのCPU『Kunpeng920』を発表
- 『Ascend』シリーズAIチップセットを活用した『Atlasインテリジェントコンピューティングプラットフォーム』を発表
- 40**を超える国と地域の**160**以上の都市でスマートシティプロジェクトを推進
- ネットワーク向け電源技術を活かした太陽光発電用パワーコンディショナー出荷台数3年連続で世界第**1**位 (2016~2018年、IHS Markit調べ)
- 「フォーチュングローバル500」にランクインする企業のうち**211**社、上位100社のうち**48**社が、ファーウェイをデジタル変革のパートナーに

※ 2018年末現在

- Smart Airportソリューションで深圳宝安国際空港のデジタル化を支援

- 『OceanConnect』IoTプラットフォームでグループPSAによるコネクテッドカーの進化を実現

- ファーウェイ『CloudEngine』スイッチがデータセンターネットワーク分野でGartner Peer Insights Customers' Choiceに選ばれる (2019年4月)^{※1}

- Gartnerによる汎用ディスクアレイについてのMagic Quadrantで3年連続リーダーに位置づけられる (2016~2018年)^{※2}



ファーウェイの『OceanConnect』IoTプラットフォームを活用したグループPSAの『DS 7クロスバック』

ジャパン

- Interop Best of Show Award
グランプリを**4**年連続で受賞 (2015~2018年)

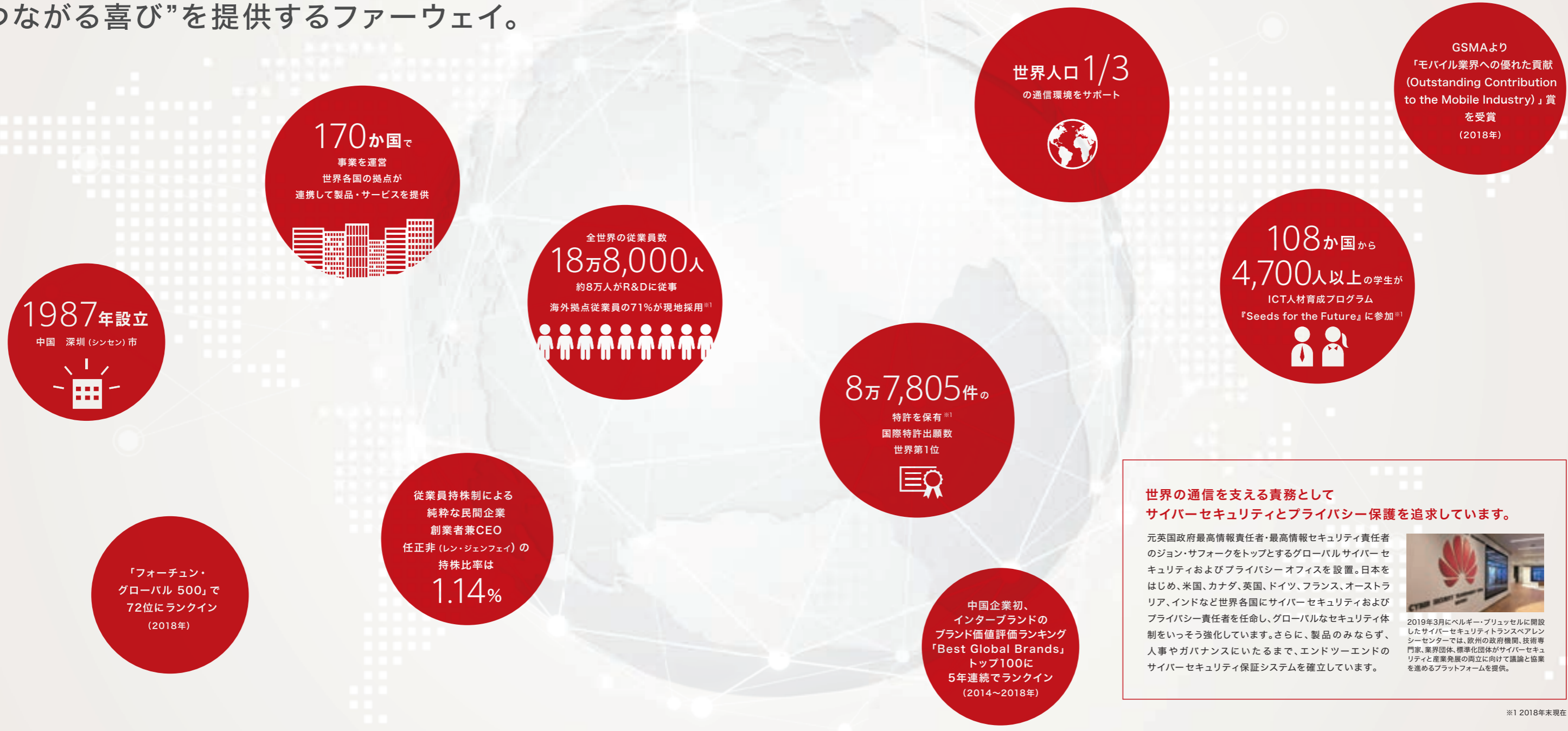


- 国内市場におけるサーバー出荷台数成長率**3**年連続第**1**位 (2015~2018年、Gartner調べ)^{※3}

- スマートエレベーター向けIoTゲートウェイを**国内で初めて**大規模に展開

※1 Gartner Peer Insights Customers' Choice, Data Center Networking - <https://www.gartner.com/reviews/customers-choice/data-center-networking/Apr-2019>
 ※2 Gartner Magic Quadrant for General-Purpose Disk Arrays, Stanley Zaffos et al. 08 November 2018 **
 ※3 Gartner, Market Share: Servers, All Countries, 4Q18 Update, Andrew H Kim, Adrian O'Connell et al., 12 March 2019

世界人口の3分の1もの人々に “つながる喜び”を提供するファーウェイ。



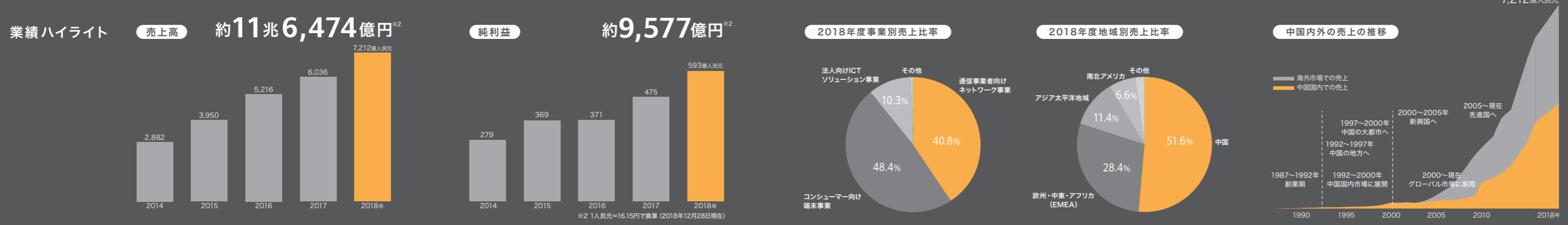
**世界の通信を支える責務として
サイバーセキュリティとプライバシー保護を追求しています。**

元英国政府最高情報責任者・最高情報セキュリティ責任者のジョン・サフォークをトップとするグローバルサイバーセキュリティおよびプライバシーオフィスを設置。日本をはじめ、米国、カナダ、英国、ドイツ、フランス、オーストラリア、インドなど世界各国にサイバーセキュリティおよびプライバシー責任者を任命し、グローバルなセキュリティ体制をいっそう強化しています。さらに、製品のみならず、人事やガバナンスにいたるまで、エンドツーエンドのサイバーセキュリティ保証システムを確立しています。

2019年3月にベルギー・ブリュッセルに開設したサイバーセキュリティトランスペアレンシーセンターでは、欧州の政府機関、技術専門家、業界団体、標準化団体がサイバーセキュリティと産業発展の両立に向けて議論と協業を進めるプラットフォームを提供。

※1 2018年末現在

Financial Highlight



R&Dへの積極投資と オープンなコラボレーションで世界のICTを牽引。

Q R&D

お客様志向のイノベーションを
経営の軸に据えて、
売上高の10%以上をR&Dに投資。
その比率は年々高まっており、
変化の激しいICTの世界を
リードする着実な成果を上げています。

お客様志向のイノベーションを支えるR&Dへの積極投資

2018年度R&D投資額
約1兆6,392億円^{※1}
(1,015億人民元)

世界トップクラスの特許取得数
総計
8万7,805件

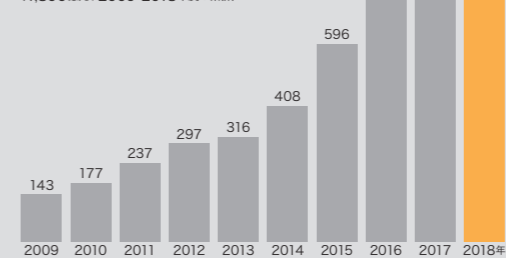
R&Dに従事する従業員数
約80,000人
(全従業員の45%以上)

共同
イノベーション
センター
36か所

400以上の
標準化団体に加盟し
標準化に貢献。
累計**6万件**近くの
標準化提案書を提出

R&D投資の推移

約7兆7,520億円^{※1}
(4,800億元、2009-2018年度の累計)



継続的な投資とエコシステム構築でイノベーションをリード

5G技術では2009年にいち早くR&Dを開始して以来、継続的な投資と標準化への貢献で業界をリード。2,570件の5G必須特許を申請し、基地局からアンテナ、チップセットまでエンドツーエンドの5Gソリューションを提供できる唯一の企業となっています。
AI分野ではAI開発者、パートナー、大学・研究機関向けイネーブルメントプログラムを実施。トレーニングの提供や共同イノベーションラボの設置のほか、AI人材教育に約**1億4,000万米ドル**(約**155億円**^{※2})を投資し、基礎研究から人材育成、オープンなエコシステム構築まで、包括的な取り組みでAIの発展と活用を促進しています。

※1 1人民元=16.15円で換算(2018年12月28日現在)
※2 1米ドル=110.74円で換算(2018年12月28日現在)

Collaboration

あらゆる企業・組織が
共通の目的のもと
相互に依存し、共生する
エコシステムの進化を促すため、
幅広いパートナーと
オープンに協業しながら、
デジタル変革の実現を支援しています。

ライカカメラと共同運営の研究開発センター「マックス・ベレク イノベーションラボ」を設立

2016年にドイツ・ウェットラーのライカのグローバル本社内に設立したラボでは、2社のパートナーシップのもと、光学システム、コンピューショナルイメージング、VR、AR分野のR&Dに取り組んでいます。

世界各国の大学・研究機関と提携、先端研究プロジェクトをサポート

2010年にスタートしたファーウェイイノベーションリサーチプログラム(HIRP)を通じ、世界各国で1,000以上の大学・研究機関と提携。また、トルコ・ビルケント大学のエルダル・アリカン(Erdal Arikan)教授(写真)が発明したPolar符号を5Gにおいて実用化へ導くなど、基礎科学研究の発展を促進するコラボレーションを実現しています。

コラボレーションを通じたWin-Winの実現



世界的な産業間協業に向けた3か年計画を発表

3GPP、5GAA(5Gオートモーティブアソシエーション)、ETSI(欧州電気通信標準化機構)、IIC(インダストリアルインターネットコンソーシアム)、Linux Foundationなどの業界団体とともに、産業の垣根を越えた幅広い協業を促進するための3か年計画を発表しました。

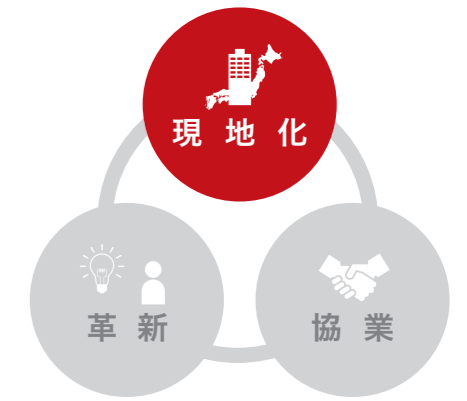
さまざまな業界のパートナーとオープンラボでの共同開発を推進

ミュンヘン(写真)、パリ、ドバイ、バンコク、ヨハネスブルク、メキシコシティなど世界各地に設置するオープンラボでは、お客様やパートナー企業とともに幅広い産業のデジタル変革を実現するソリューションを開発し、共同イノベーションを生み出すエコシステム構築を推進しています。



日本に根ざし、お客様の成功と社会の 持続的な発展に貢献するファーウェイ・ジャパン。

さらなる「現地化」「革新」「協業」を通じて、日本でも「すべてが繋がったインテリジェントな世界」の実現に注力し、お客様、そしてICT業界に価値を創出していきます。



現地化

Localization

現地に根ざした確実なローカル事業展開

現地人材を活用

東京・大阪・横浜など国内に7つの事業所を開設。1,050名の従業員のうち75%を現地で採用し、2012年からは新卒採用も実施するなど、現地人材を活かしたローカルな事業展開を行っています。

産業界に貢献

2011年には経団連に、2014年には日中経済協会にいずれも初の中国企業として加盟しました。日本国内のさまざまな業界・標準化団体にも積極的に参加し、日本のICT業界の一員として貢献を続けています。

主な加盟団体

- 次世代ネットワークサービスプラットフォーム(NSP)コンソーシアム
- 情報通信技術委員会(TTC)
- 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)
- 第5世代モバイル推進フォーラム(5GMF)
- 電波産業協会(ARIB)
- 東大グリーンICTプロジェクト(GUTP)
- 日本ケーブルテレビ連盟(JCTA)
- 日本ケーブルラボ(JLabs)
- 日本CATV技術協会(JCTEA)
- 日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
- 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)
- パソコン3R推進協会(PC3R)
- Edgecrossコンソーシアム
- Industrial Value Chain Initiative
- IoT推進コンソーシアム(IoT-AC)
- XGPフォーラム

(50音順)

日本の未来づくりに向けたCSR活動

震災復興支援

東日本大震災の復興支援として、震災直後の通信復旧や寄付にとどまらず、さまざまな活動を通じて継続的な取り組みを行っています。

東北と東京の中学生を応援

2013年から、日本フィランソロピー協会が主催する「チャリティー・リレーマラソン東京」に協賛。復興への想いを胸に都内を駆け抜ける東北と東京の中学生を応援するため、伴走バス用のWi-Fiルーターやうちわ、手ぬぐいなどを提供し、会場では社員ボランティアが運営サポートに参加しています。



グローバルICT人材育成

世界各国で実施しているICT人材育成の経験をもとに、日本のみならず世界での活躍を視野に入れて、通信の未来を担う人材育成を支援しています。

ICT研修プログラム「Seeds for the Future」を実施

2015年から、国内の理系の学生を対象に深圳本社での技術研修を提供。毎年20名の大学生・大学院生が、各国から同時に参加した学生たちとともにグローバルな環境で最先端のICTについて学びます。2016年からは北京での文化研修も加わり、2週間にわたるプログラムを提供しています。



環境保全

環境に優しい製品やソリューションの提供、社内の資源利用効率の改善により、二酸化炭素排出の削減と省エネルギー化に努めるほか、経団連自然保護協議会の一員としての活動にも積極的に参加しています。

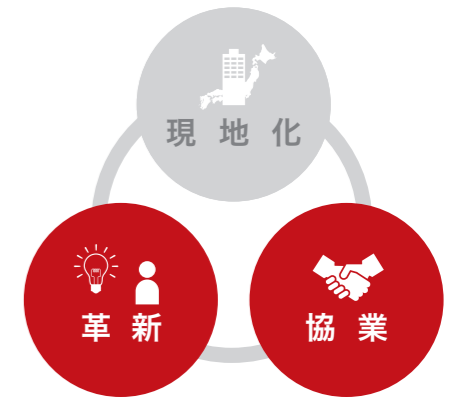
「震災メモリアルパーク中の浜」の整備に協力

経団連自然保護協議会の活動の一環として、岩手県宮古市に開園した「震災メモリアルパーク中の浜」の植樹や整備作業に協力しています。



日本企業とイノベーションを生み出す Win-Winな関係で、ともに世界へ。

さらなる「現地化」「革新」「協業」を通じて、日本でも「すべてが繋がったインテリジェントな世界」の実現に注力し、お客様、そしてICT業界に価値を創出していきます。



革新 Innovation

お客様、業界、学界との共同イノベーションに注力

日本でも研究開発と共同イノベーションを推進

2010年に日本における研究開発をスタート。
2013年に横浜市に拡張移転した日本研究所のほか、
錦糸町オフィス内のカスタマーソリューション&インテグレーション体験センター、
千葉県・船橋市に開設した製造技術センター船橋ラボなどにおいて、
優れた技術力や研究開発力を持つ企業や大学とのパートナーシップを強化し、
市場ニーズの先を見据えたイノベーションを推進しています。



カスタマーソリューション&インテグレーション体験センターでは
お客様やパートナーとともにさまざまなソリューションを検証

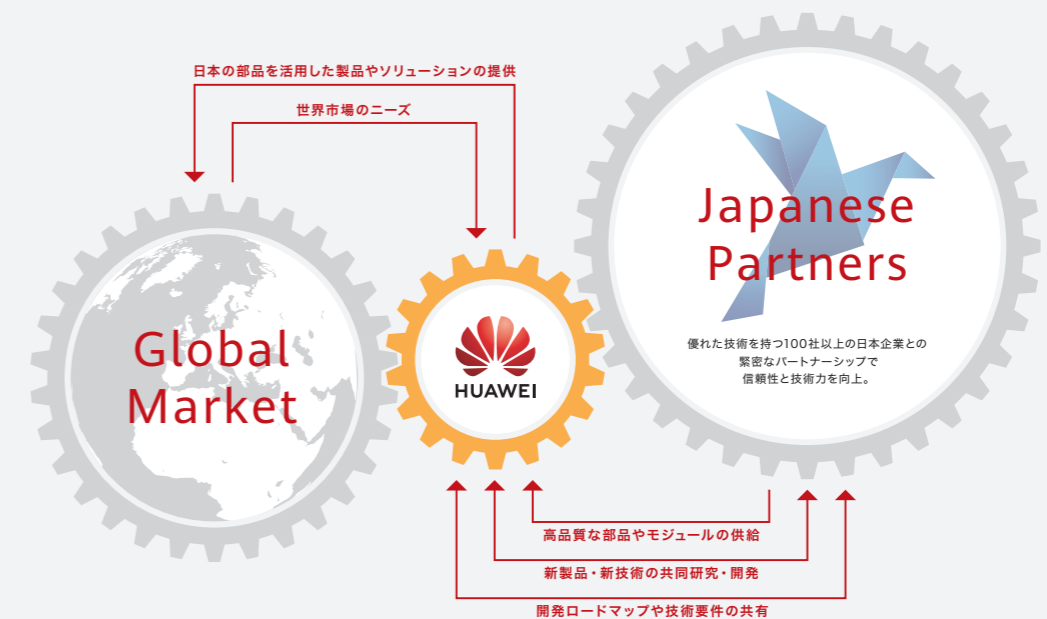
日本研究所が入居するコンカード横浜

協業 Partnership

日本企業との共存共栄を目指す緊密なパートナーシップ

日本企業の優れた技術力を世界へ展開

私たちの継続的なイノベーションには、
高い技術力を持つ日本のサプライヤーの
部品やモジュールが重要な役割を果たしています。
日本のパートナー企業から調達した優れた技術や部品、モジュールを
採用した製品を世界に展開することで、Win-Winの関係を構築し、
日本企業の事業拡大や業界の発展に貢献しています。



「すべてが繋がったインテリジェントな世界」へ。
みなさまとともに歩んできた、ファーウェイ・ジャパン。



Outline

会社概要

正式名称 華為技術日本株式会社
ファーウェイ・ジャパン

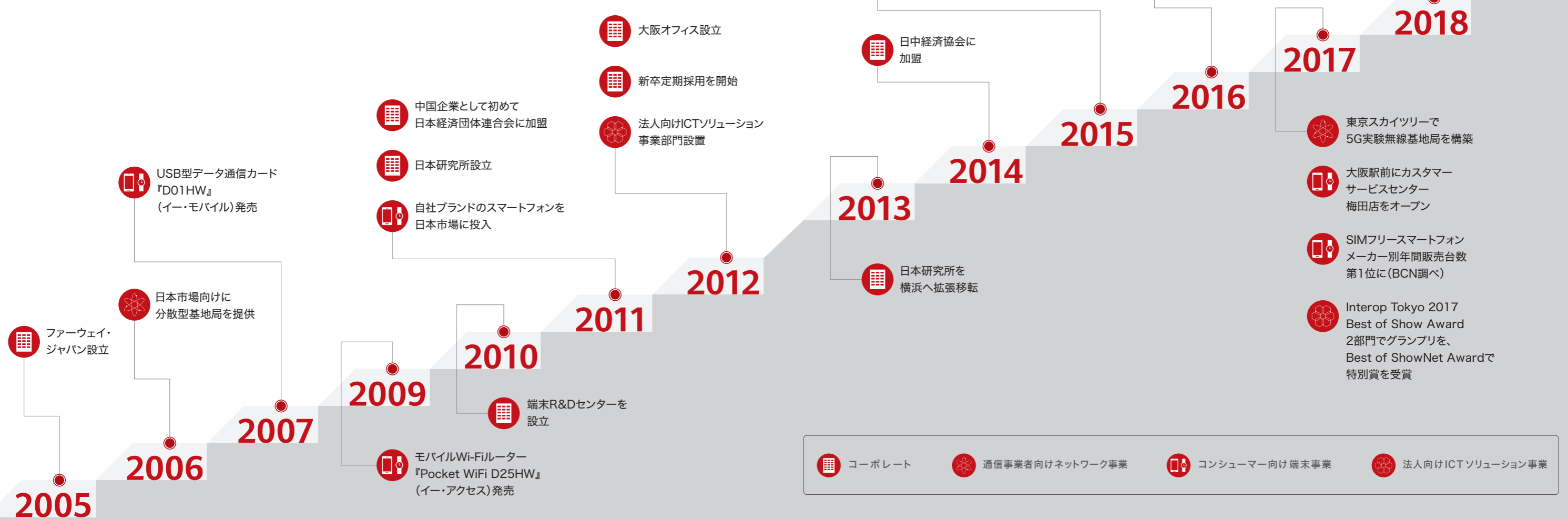
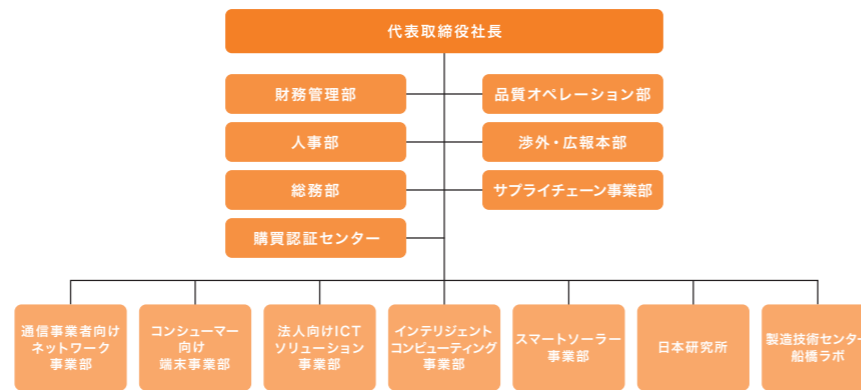
設立 2005年11月

資本金 45億6,421万5,000円

代表取締役 王 剣峰 (ジェフ・ワン)

従業員 1,050人
(2019年4月現在)
75%以上が現地採用スタッフ

組織図



- コーポレート
- 通信事業者向けネットワーク事業
- 消費者向け端末事業
- 法人向けICTソリューション事業

華為技術日本株式会社

ファーウェイ・ジャパン

東京本部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア ウェストタワー12階
代表電話番号 03-6266-8008
代表FAX番号 03-6266-8000

デリバリー・サービス本部

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1
アルカイースト8階

端末本部

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10
住友不動産九段ビル10階

大阪オフィス

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル14階
代表電話番号 06-4560-6300
代表FAX番号 06-6342-4331

日本研究所

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町3-1
コンカード横浜19階

購買認証センター

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1
京橋エドグラン24階

製造技術センター船橋ラボ

〒274-0052 千葉県船橋市鈴身町448-19

www.huawei.com/jp

19-5

* Gartner Peer Insights Customers' Choice constitute the subjective opinions of individual end-user reviews, ratings, and data applied against a documented methodology; they neither represent the views of, nor constitute an endorsement by, Gartner or its affiliates.

** ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようにテクノロジーユーザーに助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の責任を負うものではありません。

